

フォトコンテスト始まる!

一瞬をかわいく切り取ろう

市政トピックス TOPICS



石野千尋さんをモデルにシャッターを切る参加者



河川敷に咲く花をパシャリ



かわいい色の壁を撮影

女性ならではの視点や感性で真庭市の魅力を見つけ、写真で表現してもらおうと初めて企画された女性限定のフォトコンテスト「真庭市・暮らしフォトコンテスト」のプレイベントとして、8月3日に湯原温泉街で「かわいい写真の撮り方講座」が開かれました。市内外から参加した17人の愛好家たちは、東京を拠点にファッション雑誌などの撮影をしている石野千尋さんから3人の写真家から、カメラの機能やかわいい写真を撮影するためのコツなどを聞き、早速カメラを構えていました。

ゆるキャラグランプリ2017にエントリーしている真庭市キャラクター「まにぞう」の出陣式が、8月1日に市役所正面玄関前で行われました。真庭市を全国にPRしようとして、今回で5回目の挑戦です。出陣式には総社市のキャラクター「チュッピー」や湯原町旅館協同組合の「湯原温丸(あつたまるくん)」らが応援に駆け付けました。ゆるキャラグランプリのHPで11月10日の午後6時までに投票ができます。

まにぞう出陣式
皆さん応援してください



真庭市をPRするためにがんばるぞ!



活動状況の説明や意見交換が行われました

産建常任委と観光関係者の意見交換会 政策の立案や提言へ

7月26日、真庭市議会産業建設常任委員会の委員7人と、真庭観光連盟など市内の観光関係団体が意見交換を行いました。この日のテーマは、①滞在型観光の促進、②外国人観光客に対応した受け入れ環境整備、③地域住民の観光への参画の3つ。市議会では、様々な団体との意見交換会を10月まで開くことになっています。また、内容をまとめ、議会全体による討論会を11月に開いて政策の立案や提言につなげることにしています。



市政に関する動きの一部を紹介します

8/1 地域おこし企業人辞令交付

真庭市は国の「地域おこし企業人交流プログラム」を初めて活用し、NTT西日本から派遣された山下嘉久さんに辞令を交付。この事業は民間企業の専門的な知識や技術をまちづくりに生かすものです。



8/9 市の公共交通を協議・検討

真庭市における公共交通について協議するため、第24回真庭市地域公共交通会議が開かれました。平成28年度の事業報告や決算報告の後、枝線の運行見直しなど今後の検討課題について情報共有が行われました。



市長室から
こんにちは!

核兵器禁止条約に参加を

この夏、4年に1回の世界平和首長会議が長崎市で開催され、慰霊碑への献花など部分的に参加しました。国家間の戦争では敵兵を多く殺すほど英雄。個人で人を殺せば殺人罪で、場合によっては死刑。一体、「国家」とは何か？まだ私自身納得できる答えを見出していませんが、戦争で最も残酷なのが、市民を含め無差別の大量殺戮で、生存者も後遺症で苦しむ核兵器であることは間違いありません。

戦後72年を経て、この6月に国連総会において「核兵器禁止条約」が世界122か国の賛成で採択されたこと自体は画期的なことですが、日本は米国などの核兵器保有国とともに交渉会議にすら参加していません。唯一の被爆国として恥ずかしい限りです。

こんな状況の下で核兵器廃絶の目処は全く立っていませんが、首長会議参加お礼の田上長崎市長からの私信メール、「長崎の高校生の合言葉『微力だけど無力じゃない』を胸に一緒に頑張りましょう」という言葉に感動しました。長崎の高校生は、今年も地道な署名、募金活動をして核兵器禁止を訴え、国際会議にも参加するのです。

次の世代に核兵器を残さないようにすることが、今を生きる私たちの最大のプレゼントではないでしょうか。暑い夏の熱い思いを披露します。



大学生が作ったスイーツを試食する協議会メンバー

8月9日、地元農産品を使った加工品開発の試食会が開かれ、この取り組みを進めている北房農泊推進協議会のメンバーと岡山県立大学の学生らが参加しました。協議会では、農林水産省の交付金を活用しながら、平成29年度から2年間、農業と観光を関連付けた地域振興事業に取り組みます。この日、協議会のメンバーは、学生が作った6種類のスイーツを試食し、北房オリジナルのスイーツの商品化に向けて意見を出し合いました。

地元農産品を使った加工品開発
北房地域のお土産に

「CLTで地方創生を実現する首長連合



共同代表としてあいさつをする太田市長

8月2日、太田市長と尾崎高知県知事が共同代表を務める「CLTで地方創生を実現する首長連合」の第2回総会が東京都内で開かれました。平成27年8月の設立時には加入首長は14名でしたが、今では103名にまで増えており、CLTを活用した建築物も完成予定を含めると100棟以上になります。会では今後CLTを核に国産材の需要拡大を加速化させるための取り組みを推進していくことが宣言されました。

CLTで地方創生を実現する首長連合
木材活用で地方創生を